

2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 資金分配団体公募 採択事業

事業名 主題	地域課題の解決を目指した中間的就労支援事業
事業名 副題	キャッシュフオーワーク手法を用いた若者支援
対象地域	全国
団体名	一般財団法人リープ共創基金 <コンソーシアム申請>
代表者名	代表理事 加藤徹生
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動；②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援；③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援、2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動；④働くことが困難な人への支援、3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動；⑥地域の働く場づくりの支援
事業の概要	本事業ではコロナ禍における生活困窮者を対象としたつなぎ雇用（中間的就労）を行い、その雇用を通じて地域課題の解決を目指す「キャッシュフオーワーク手法」を用い、生活困窮者に対し最低限の収入の確保と新たな職業スキルの獲得を可能にしながら、新たな地縁の獲得と地域経済の自立的な復興に貢献する機会の創出を目指す。具体的には、実行団体を通じて、若年者（44歳まで）の中で何らかの生活困窮状況にある者から参加者を募り、地域課題の解決やICTを活用した職業訓練への参画を条件に、3~6か月のつなぎ雇用を実現し、それに対し実行団体から参加者に対して支援金（各地域の最低賃金×30時間/週の程度を目安）を提供する。
事業期間	1年
助成額（円）	200,000,000

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・社会課題の設定も妥当であり、その解決手法として現金給付ではない形でのキャッシュフオーワークというアプローチも良いと思われま。キャッシュフオーワークという手法が確立すればモデルとなり得ると考えます。 ・労働力の適切な移動を促す取り組み手法は、感染症対策という固有の課題への対応として新規性が認められます。 ・地域のステークホルダーとの協働の体制が確立することで他分野の課題解決の可能性にもつながります。 ・事業完了後の雇用創出数の実現に向けた取り組みを進めていただきたいと考えます。職業訓練のプログラム構築を期待します。 ・コロナで失業した人およびコロナで人手不足になっている仕事を適切に把握して、就労支援ができることが望ましいです。 ・実行団体数と、それぞれへの助成額が多いと考えます。実行可能性の観点から、実行団体数の決定、実行団体の特徴にあわせた事業計画・資金計画の策定が必要です。資金分配団体としての事業実施体制に見合った助成金額への見直しなどが必要と考えます。
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2020年7月初旬）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2020年8月中旬）のもので。す。